

各種募集について

■ 新規奨学生の募集

頸城区在住の中学校及び高等学校を卒業した生徒又は学生で経済的に困難な学生に対し、無利子で学資を支援します。在学途中からでも申請できます。

申込締切
4月15日

【出願資格】

1. 本人又は保護者が既に1年以上頸城区に住所を有し引き続き居住している人
2. 高等学校（中等教育学校の高等課程を含む）、高等専門学校、特別支援学校（高等部に限る）、専修学校（高等課程・専門課程で就業年限が2年以上のものに限る）、大学及び大学院に在学している人

【奨学区分と貸与額】

区 分	月 額	入学金
高等学校（中等教育学校後期課程含む）、高等専門学校（1～3年） 専修学校（高等課程）、特別支援学校（高等部）	10,000円	50,000円
高等専門学校（4・5年・専攻科）、専修学校（専門課程） 短期大学	20,000円	200,000円
大学・大学院	30,000円	300,000円

■ 地域コミュニティ助成事業の募集

町内会など公益活動を行う住民団体が実施する地域のまちづくり活動及びコミュニティ活動に必要な施設整備や地域の史跡、遺跡、文化などの保存・伝承事業に対して予算の範囲内で事業費の一部を助成します。

申込締切
前期 4月末
後期 9月末

1. 市が行う「町内会集会場整備等補助事業」などと併せて申請する場合

- ・市の補助額の残額が助成対象事業費となります。
- ・助成率は、上越市の補助率と同率です。
- ・助成限度額は、40万円。ただし、ごみ集積施設に関する助成限度額は10万円。
- ・上越市の補助対象事業であっても、緊急性などから上越市の補助を受けられず当財団の助成のみを受ける場合は、助成対象事業費は30万円まで、助成率は80%で助成限度額は24万円です。

2. 市の補助対象とならない事業の場合

- ・助成率は、10分の8（80%）、助成限度額は40万円です。

※助成対象となった事業及び同一団体は、事業年度の翌年から2年間は助成対象外です。

【実施事例】・三十三観音の登り口階段に手すり設置

- ・町内会館周辺に花木を植え、育てる緑化美化事業
- ・町内会館の外壁塗装工事
- ・町内会館の会議用テーブル・椅子の購入
- ・災害時の安全対策としてAEDの購入
- ・防犯灯のLED化工事や新設工事
- ・NPO法人の周年記念事業として講演会の開催



※事業内容により助成率が異なる場合があります。詳しくは下記にお問い合わせください。

問い合わせ・申込み先

(公財) ユートピアくびき振興財団

頸城区百間町636番地 頸城区総合事務所2階
TEL 025-530-2771 FAX 025-530-2820
URL <https://kubikizaidan.com>

ユートピアくびき 振興財団会報

第56号
2023.3.25

令和5年度 事業及び予算の概要

新型コロナウイルス感染拡大という未曾有の社会不安から、直近の3年間、当財団の事業も一部事業の中止あるいは縮小などを余儀なくされました。未だ先行きの不透明感は払拭するに至っておりませんが、社会全体が徐々に従来の日常生活を取り戻そうと動き始めている現状を踏まえ、新年度事業については、従来に立ち返り財団設立の目的に沿った事業の展開を図ってまいりたいと考えています。

地域人材育成事業では、文化講演会や映画鑑賞会、木管五重奏コンサートのほか、初の試みとして落語会の開催を予定し、コロナ禍で荒みがちな中、地域の皆さんに楽しみや感動をお届けしようとする企画としました。また、例年開催している時局講演会は、著名講師の講演料増高や前述の事業予算の兼ね合いもあり今年度は休止することといたしました。青少年の育成では、講座の開催や小中学校の全国大会等の出場費の一部助成を行う一方、子供たちの国語の読解力を高めるための読書活動推進事業も引き続き実施します。

奨学金貸与事業では、継続貸与者8名に加え新規採用5人を予定しています。

まちづくり振興支援事業では、地域コミュニティ助成事業で7件程度を見込み地域の活性化を図るほか、視察研修事業では、観光バスを利用しふるさと歴史探訪として「頸城の伝説」ゆかりの地をめぐる企画としました。

令和5年度 事業計画

地域人材育成に関する事業

<p>*映画鑑賞会 6月1日（木） 入場券必要 2回上映【昼の部 午後2時～ 夜の部 午後6時～】 作品名：『峠 最後のサムライ』 司馬遼太郎の名著が初の映画化！ 越後長岡藩家老 河井継之助を描く超大作！！ 出演：役所広司、松たか子、香川京子、田中泯、永山絢斗 他</p>	<p>入場券配布開始 5月9日（火） 午前9時～ ユートピアくびき希望館</p>
<p>*文化講演会 6月25日（日） 午後2時～ 入場券必要 講師：鎌田 實 氏（諏訪中央病院名誉会長） 演題：「がんばらないけど あきらめない ～人生100年時代を健康で幸せに生きる～」</p>	<p>入場券配布開始 6月4日（日） 午前9時～ ユートピアくびき希望館</p>
<p>*演奏会 10月22日（日） 午後2時～ 入場券必要 新日本フィルハーモニー交響楽団メンバーによる木管五重奏 フルート、クラリネット、オーボエ、ファゴット、ホルンの 5人の一流奏者によるアンサンブルコンサート</p>	<p>入場券は ハガキによる申込み 申込開始は7月下旬予定</p>
<p>*落語会 11月23日（木・祝） 午後2時～ 入場券必要 林家三平 & 林家木久蔵 二人会 テレビでもお馴染みのお二人による爆笑！落語会</p>	<p>入場券配布開始 11月5日（日） 午前9時～ ユートピアくびき希望館</p>

地域人材育成に関する事業

*** 青少年育成講座**

スポーツ選手、文化人などを講師に招き、青少年が広い見識と知識を養い、将来の夢を持つことの大切さと努力により夢が可能になることを伝える講演会を開催します。

*** 小中学生全国大会等出場者助成**

小中学校におけるスポーツ活動や文化活動の振興を図るため、全国大会等の出場者に出場費の一部を助成します。

*** 読書活動推進事業**

本に親しむきっかけとしてもらうため、小学1年生の希望者を対象に優良図書の配付を行います。

地域振興を担う青少年への奨学金貸与に関する事業

頸城区の住民であって中学校及び高等学校を卒業した生徒又は学生で経済的理由により就学困難な学生に対し学資を貸与し、有為な人材を育成します。

*** 奨学金貸与事業** 申込締切 4月15日 ※詳細は4ページをご覧ください。

まちづくり振興支援に関する事業

*** 地域コミュニティ助成事業**

地域のコミュニティを推進し、地域の活性化を図るため、コミュニティ施設整備やまちづくり活動及び歴史史跡保存、伝統文化伝承、文化振興などの事業に助成します。

申込締切 前期4月末、後期9月末
助成率 事業費の80%以内(限度額40万円) ※詳細は4ページをご覧ください。

*** 視察研修事業 9月下旬予定**

「ふるさと歴史探訪『頸城の伝説 力持ちの長兵衛』ゆかりの地めぐり」

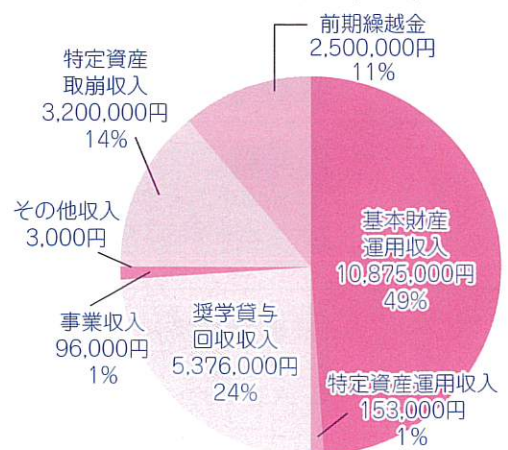
*** ふるさと講座**

「あやめプロジェクト」

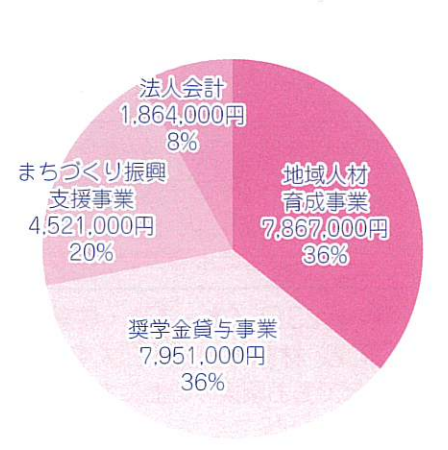
旧頸城村の花「あやめ」を地域住民の協力で増やし広げていくことを目的として実施します。

令和5年度 収支予算

収入の部 (収入総額22,203,000円)



支出の部 (支出総額22,203,000円)



開催事業の様子

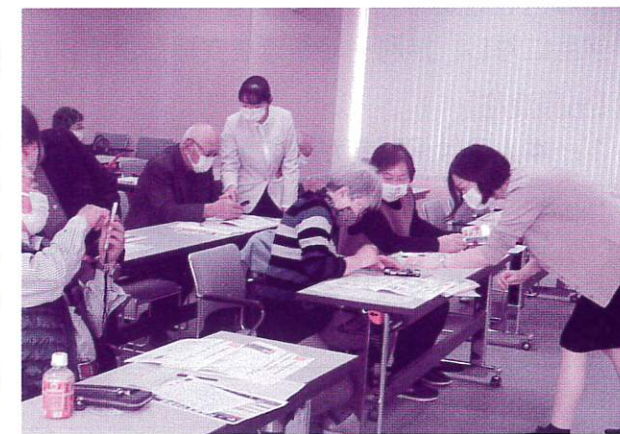
人材育成 スマートフォン講座開催

11月22日(火)にスマートフォン講座を開催し、午前と午後の2部に分かれて20名の方から受講いただきました。

今回の講座は、「スマートフォンを安全に利用するために必要な知識」や「インターネットの使い方」について学ぶ入門編として開催しました。

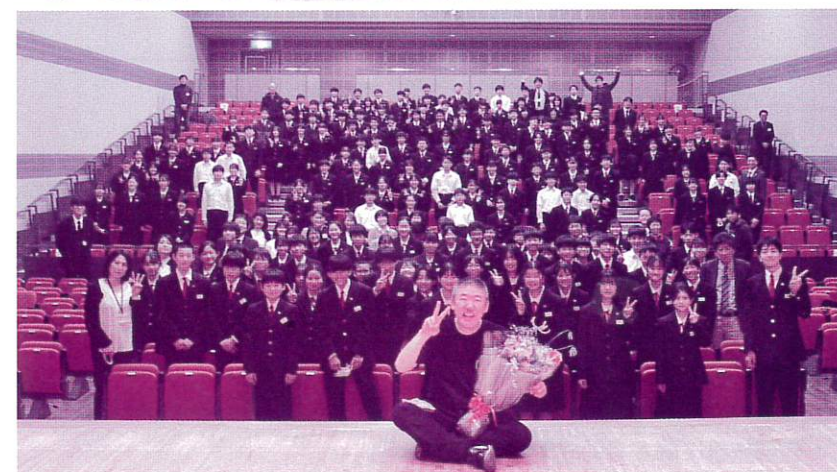
実際にスマートフォンの操作をしながらインターネット検索や音声検索を体験し、暮らしの中での活用方法などを学びました。

参加いただいた方から「大変良かった、また参加したい」との感想を多数いただきました。



人材育成 青少年育成講座開催

中村文昭講演会 「出会いが変われば人生が変わる」



12月7日(水)に青少年育成講座を開催し、頸城中学校全校生徒と保護者など約220名の方々にご聴講いただきました。

講師の中村文昭氏は、有限会社クロフネカンパニー代表取締役社長としてレストランなどを経営するかたわら、引きこもりやニートの若者支援や全国各地での講演など多方面でご活躍されています。

講演では、「心は聞いた言葉でつくられる」「ワクワクすることを続けていく」「社会に出て必要なのは人間力」「人を喜ばせるために働く」「頼まれごとは試されごと」など数々のキーワードを挙げてお話くださいました。

講演の感想を抜粋で紹介します。

「頼まれごとは試されごと」という言葉と「相談は実際にやったことがある人にすべき」というお話が心に残った。人に物事を頼まれたときには、自分を試していると思って相手が喜ぶことを一番に考えるということが、とても素敵な考え方だなと感じたので、自分も真似しようと思う。(中3女子)

中村さんご自身の体験やお子さんへの言葉がけなどを、楽しいエピソードを交えてお話くださり、あっという間に時間が過ぎてしまいました。人生は自ら発する「言葉」で出来ているなど、日々使っている言葉の大切さについても改めて考えさせられました。

「頼まれごとは試されごと」という言葉を素直に受け止めて一生懸命働き、多くの経験を通して仕事にやりがいと楽しさを感じられる毎日につながっているというお話や息子さんたちのお話が特に心に残っています。これから将来のことを考えると悩んでしまいがちな思春期の子どもたちにやる気と勇気を与えてくださるお話だったと思います。(保護者)

